

2013年10月24日

アスクル株式会社
ヤンマー株式会社
住友林業株式会社

アスクル株式会社、ヤンマー株式会社が ベトナムでの気候変動対策（REDD+実証活動）に参画

住友林業株式会社（社長：市川 晃 所在地：東京都千代田区、以下住友林業）と国際協力機構（JICA、以下JICA）は、本年8月9日に発表の通り、ベトナム社会主義共和国でREDD+※¹実証活動を実施しています。この度、アスクル株式会社（社長：岩田 彰一郎 所在地：東京都江東区、以下アスクル）及びヤンマー株式会社（社長：山岡 健人 所在地：大阪市北区、以下ヤンマー）がこの活動に参画することが決定しました。

REDD+は、開発途上国の森林減少・劣化等を防ぐことにより気候変動を緩和する取り組みとして、国際社会から注目されています。現在、国連では、開発途上国のREDD+活動により排出が抑制されたCO2相当量に対して、経済的インセンティブを与える方向で議論が進んでいます。本活動は、本格的な制度導入に先立ち、REDD+活動を農村で試行することにより、REDD+の取り組みの加速・拡大を目指すもので、住友林業とJICAが本年8月に連携協定を締結し、官民連携第一号として取り組みを開始したものです。

住友林業とJICAは、REDD+実証活動を拡大するため、森林および環境の保全と地域の持続的発展に貢献する本活動に参画する民間企業を募っていましたが、この度、アスクル及びヤンマーが参画することになりました。

アスクルは、ベトナムからも輸出している木材由来の製品を多く扱う流通企業として、ヤンマーは、これから発展するベトナムの農業を応援する産業機械メーカーとして、CSRの観点から森づくりに参加します。

また、去る9月9日には、本年が日越友好年であることを記念して、地元政府（ディエンビエン省農業農村開発局）、JICA、住友林業、アスクル、ヤンマーの共催により、地元関係者を招いての記念セレモニーを現地ディエンビエン省において開催しました。

セレモニーに先立ち、対象地にサクラの記念植樹が行われるとともに、セレモニーには80名を越す関係者が集まり、鏡開きで両国の友好を祝い、更なる連携強化を目指すことを確認しました。

今回の参画企業の増加により、本活動内容が充実・拡大し、同省の森林保全活動が強化され、地球温暖化対策に貢献するとともに、地域住民の生計向上を図ることが期待されます。

今後とも、住友林業とJICAは、このREDD+実証活動を拡大するため、森林および環境の保全と地域の持続的発展に貢献する本活動の趣旨に賛同し、参画する民間企業を募ってまいります。

※¹開発途上国の森林の減少・劣化を防止して地球全体でのCO2排出量を削減するという考え（REDD）に、持続可能な森林管理などによって森林のCO2吸収固定機能を高めるという考えを付加（+）したもの。現在、気候変動対策の一つとして、国連などでREDD+を国際的に進めるための枠組みが検討されている。

参考 [8月9日発表資料](#)

<参考資料>

<報道関係の方のお問い合わせ先>

アスクル株式会社 広報室 薄井

TEL：03-4330-5150

ヤンマー株式会社 総務部 広報グループ

TEL：06-6376-6212

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション室

TEL：03-3214-2270

<報道関係以外の方のお問い合わせ先>

住友林業株式会社 山林・環境部 植竹・佐藤

TEL：03-3214-3250